

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

キングパーツ株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市御幸町下岩成879-1

(3) 業種

鋳鋼製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし、平成29年度から平成33(2021)年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1、基本理念

キングパーツ株式会社は、地球環境保全への取り組みを経営の重要課題の一つと位置付け、事業活動、製品、サービスのあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動する。

2、方針

○わが社は、ロストワックス精密鋳造メーカーとして、設計・製造・サービスの活動における、環境保全・環境負荷の低減につながる活動を実施します。

○環境目標を設定し、定期的な実施、見直しにより、環境問題の継続的改善を図ります。

○事業活動において、省エネルギー・省資源の推進や汚染予防を積極的に取り組みます。

○環境に関わる法規制・条例・その他の要求事項を遵守します。

○この方針はわが社で働く人、又はわが社のために働く全ての人に周知すると共に、文書化し社外にも公開します。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成29年度
二酸化炭素	5,199 t-CO <sub>2</sub>	4,737 t-CO <sub>2</sub>

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産高(百万円)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成33年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	5,199	1,926	2.70	5.2	5,632	2,200	2.56
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として、原単位ベース年平均1%以上の削減率とした。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用量原単位での削減	エネルギー消費原単位として、原単位ベース年平均1%以上の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機器の適正温度管理</li> <li>・稼働していない機器の電源OFF</li> <li>・モーター機器類へのインバータ設置</li> <li>・電気エネルギー使用機器の省エネ機器への更新</li> <li>・高効率機器への更新計画を継続実施する</li> <li>・生産性原単位の向上</li> <li>・休憩時間、不使用場所の消灯</li> <li>・デマンド監視による使用量平準化を推進</li> </ul>
2			
3			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

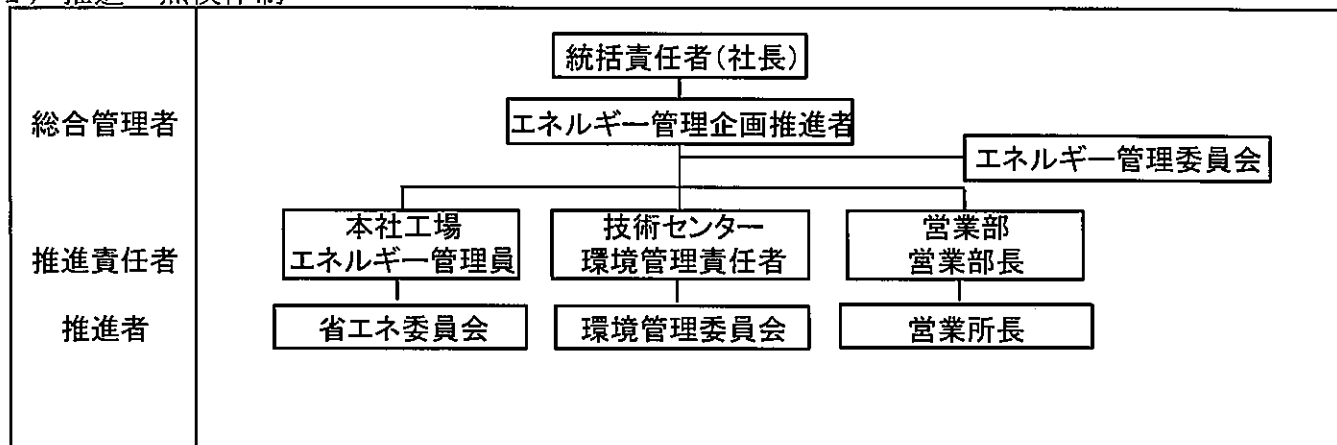
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

- ・中期エネルギー削減計画をもとに、エネルギー管理委員会にて四半期ごとに進捗確認を実施する。
- ・エネルギー管理委員会において、月次エネルギー使用量の集計と報告を継続する。

### (3) 計画書等の公表

- ・エネルギー使用に関する事項を環境管理規定において文書化し、社外への公開を行う。